

第42回奈良県芸術祭参加

Tomimoto KENKICHI

- Patterns come into existence from wayside scenes -

近代陶芸の巨匠

特別陳列

富本憲吉

～模様の世界～



磁器 色絵金彩羊歯模様 大鉢壺 1960年
京都国立近代美術館 蔵

2011年

9/6(火) ~ 10/10(月・祝)

月曜日休館 午前9時～午後5時(入館は閉館の30分前まで)
※9月19日(月・祝)開館、20日(火)休館、10月10日(月・祝)開館

奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art

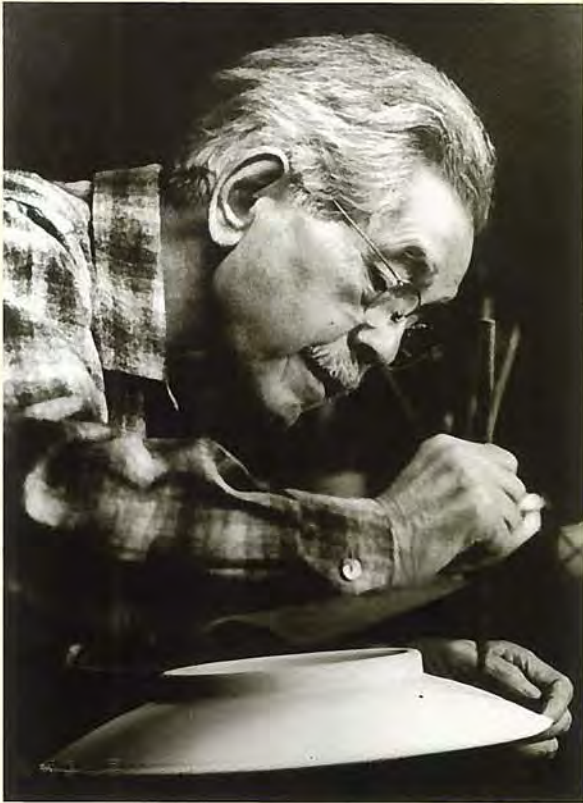
奈良市登大路町10-6

☎0742-23-3968 FAX0742-22-7032



磁器 色絵更紗板様 中皿(部分) 1949年 京都国立近代美術館 蔵

特別陳列 富本憲吉 ～模様の世界～



京都時代の富本憲吉 (写真提供：富本憲吉記念館)

奈良県出身の芸術家、そして近代陶芸の巨匠として知られる富本憲吉（1886～1963）。1913（大正2）年、富本は親友バーナード・リーチとの交流の中から楽焼に取り組み始め、やがて本格的に陶芸の道に進みます。以後約50年にわたる陶業を通して独創性ゆたかな作品を探求し、日本の陶芸の近代化に大きな役割を果たしました。

独自の表現を模索するにあたり、富本は陶磁器における「模様」とはどうあるべきかという問題に大きな関心を寄せます。古陶磁の魅力を深く理解する一方、それらを安易に模倣することを戒めた彼は、「模様より模様を造るべからず」という信条を掲げます。既成の模様から離れ、身近な自然を観察し、何度も写生して新しい模様へと昇華させる…それはたいへんな労力を要する営みでした。しかしそうして創作された数々の模様は、時間を経ても色あせることなく、今もお見る者の目を楽しませてくれるのです。

本展ではその「模様」に着目し、館藏品・寄託品に他館所蔵品を加えた約120件を展示します。模様まつわるエピソードもあわせて紹介し、その創作の道程をたどります。豊富なモチーフ、技法による印象の違いなど、富本ならではの模様の世界をお楽しみください。



磁器 瑠璃釉トリカブト葉模様 八角蓋付壺 1931年 奈良県立美術館 蔵



磁器 染付線彫竹林月夜模様 陶板 1921年 富本憲吉記念館 蔵



磁器 色絵四弁花更紗模様 六角飾壺 1945年 奈良県立美術館 蔵



磁器 色絵金銀彩「風花雪月」字陶板 1950年 奈良県立美術館 蔵



磁器 色絵四弁花模様と大和川急雨模様 角瓶 1950年頃 富本憲吉記念館 蔵



磁器 赤地金銀彩羊歯模様 蓋付飾壺 1953年 奈良県立美術館 蔵



磁器 色絵紫四弁花模様 飾箱 1958年 文化庁 蔵



磁器 金彩羊歯市松模様 飾箱 1960年 文化庁 蔵

講演会

「富本憲吉の創作模様」

講師：山本茂雄氏（富本憲吉記念館 館長）
日時：2011年9月17日（土）午後1時30分～
会場：当館1F多目的ホール（要観覧券・約50席）

ギャラリートーク

講師：当館学芸員
日時：2011年9月10（土）・24日（土）・
10月1日（土）・8日（土）午後2時～
会場：当館展示室

■身体障がい者手帳・療育手帳及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名無料

奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

☎0742-23-3968 FAX 0742-22-7032

テレフォンサービス0742-23-1700

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-11842.htm



【交通機関】●近鉄奈良駅○番出口から徒歩5分
●JR奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車

〈観覧料〉一般600(400)円 大・高生400(200)円 中・小生200(100)円 ()内は団体20名以上の料金